

第10期 (2023年度)

ジャーナリズム公開講座 (全14回) 第8回

開催日時 9月28日(木) 18:30~20:30



オンライン配信 (Zoomウェビナー)

ウクライナ戦争が変えたドイツとNATO

ウクライナ戦争開始直後の2022年2月27日、ドイツのシュルツ首相は「時代の転換点 (ツァイテンヴェンデ)」だとして安全保障政策の転換を宣言した。しかし、それから1年半、「転換」の遅れがドイツとNATOとの間に軋轢を生んでいる。戦争が長引く中、ウクライナ支援国の団結は続くのか展望する。



【講師略歴】1964年神戸市生まれ。86年京都大学法学部卒。89-91年ベルリン自由大学留学。94年京都大学大学院法学研究科博士課程修了。京都大学法学部助手、在ドイツ日本国大使館専門調査員、政策研究大学院大学准教授などを経て2009年より現職。専門は国際政治学、ドイツ政治外交史。博士(法学)(京都大学)。著書に『ドイツ再軍備』(中央公論社、1993年)、『核の一九六八年体制と西ドイツ』(有斐閣、2021年)、編著『核共有の現実 NATOの経験と日本』(信山社、2023年)、共編著『Joining the Non-Proliferation Treaty』(Routledge、2019年)など。

講師: **岩間 陽子** 政策研究大学院大学教授

参加無料 要事前申込(先着200名様)

- ▶申込方法 グローバル地域センターのウェブサイト <https://www.global-center.jp>
または二次元コードから **9月27日(水)**までに
ウェビナー登録をしてください。
登録完了後に接続方法をご案内します。



▶お問い合わせ

静岡県立大学グローバル地域センター



Tel:054-245-5600 E-mail:nishi@u-shizuoka-ken.ac.jp (担当: 西)